

「市民の声」を紹介します



投書箱（設置場所により形が異なります）

「市民の声」は、皆さんから市政に対する意見や要望などを広くお聴きする制度です。

ここでは、いただいた意見などの中から、その一部を紹介합니다。なお、意見などは要約しています。

問秘書課広聴担当（☎65・2160）



市ホームページ内の入力フォーム

3歳未満児を保育園に預ける場合の母親の就労時間

2歳の娘を持つ母親です。3歳未満の子どもを保育園に預ける場合、就労時間が1か月に120時間以上必要なのはなぜですか。休憩を含めて1日7時間は職場にいないければなりません。保育園に預けられるのが8時間だと、子どもを送迎する際に、保育園と職場の間を30分ずつで移動しなければなりません。時間的な余裕がないため、多くの母親が延長保育を申し込んでいます。また、正社員でないと1か月に120時間以上勤務できない会社もあり、正社員として働いている場合、急ぎよ体調不良になった子どもを迎えに行くときも、会社に融通してもらえなかったり、嫌な顔をされたりします。3歳未満の子どもを持つ母親が働きやすくなるように、1か月に必要な就労時間を減らしてください。

答

3歳未満児を受け入れるための保育所認可基準は、3歳以上児に比べ、子どもに対する職員配置の割合が高く、広い保育室も必要です。現在、市内全ての3歳未満のお子さんを受け入れる体制が整っていないため、保育の必要性の高い方を優先に考え、就労時間の下限を120時間としています。近年、女性の就労率は高くなっており、保育園に通園する0歳〜2歳児は増加しています。また、就労形態も多様化しているた

め、就労時間の下限の変更を検討していきます。なお、入園基準に満たない方は、市内8園で一時保育を実施していますのでご利用ください。（子ども課）

学校教科の学び直し

市内では、運動や健康に関する講座が開設されていますが、小・中学校や高等学校で習った教科についても、再度、教師から学びたいと思っています。ぜひ、国語や数学、理科、物理などの講座を開設してください。

答

市では、教科そのものの講座は現在開催していませんが、幼児から高齢者を対象に、さまざまな生涯学習講座を開催しています。健康や郷土史など身近な内容の「シニアフリーキャンパス」市民大学講座や、文学や歴史などのより専門的な内容の「オープンカレッジ」を開催しています。今後も幅広いテーマの講座を開催したいと考えています。（生涯学習課）



大学と連携して「オープンカレッジ」を開催しています

六万石くるりんバスのダイヤ

他市では1時間ごとに市営バスが回っていますが、六万石くるりんバスは、2時間に1回しか回っておらず、とても不便です。200円になっても良いので、回数を増やしてください。

答

六万石くるりんバスは、市街地線、西廻り線、東廻り線の3路線を運行しています。いずれの路線も午前8時台から午後5時台までの0分に西尾駅を出発するダイヤで、同じルートを「右まわり」「左まわり」と交互に1時間に1便ずつ運行しています。より多くの皆さまが利用しやすいように、バス停から左右両方向の目的地へ行ける現在の形式となっています。（地域支援協働課）



六万石くるりんバス「西尾駅」バス停

観光経路の表示物

市内の観光経路に、カラーで西尾城が描かれ「文化の回廊 三河の小京都・西尾 城下町歴史小径」と表記された小さな円形のプレートがありました。これはマンホールですか。

答

その円形のプレートは、マンホールではなく、平成7年に、市が全国京都会議から『小京都』に認定された際、ウオーキングコース上に設置した目印で、市特産の鋳物でできています。このプレートを目印に三河の小京都巡りをお楽しみください。(商工観光課)



「小京都めぐり市街地散策コース」に設置されているプレート

肴町の町並み保存

私は、肴町の古い町並みが気に入って西尾市に移り住み、周囲の景観に合わせて町屋風の家を建てました。現在、肴町に住む人は高齢化しており、このままでは町並みが保てなくなり、西尾祇園祭の大名行列も、

この町並みの中でやるからこそ価値があると思うので、町並み保存のために市も取り組む必要があると考えます。また、今年度、肴町の道路が舗装整備されると聞きましたが、どのような計画で行われるのでしょうか。道路の舗装整備と同時に、町並みに合わせて電柱を撤去したらどうでしょうか。

答

町並みを保全するには、地域住民の方が景観の良さを再認識して地域に誇りと愛着を持ち、市民と行政が良好な景観の保全や創出に対して同じ考えを持つことが望ましいと考えています。今後、その必要性を見極めていきます。

現在の舗装は工事後の継ぎはぎが多く、歩行者などの通行に支障があるため、今年度、機能復旧を目的とした舗装の補修工事を行います。施工範囲は、南側県道交差点から北側信号交差点まで、約200mの予定です。(都市計画課・土木課)



肴町は、西尾祇園祭の大名行列のスタート地点になっています

■市政に対する意見をお寄せください

市政に対する意見は、公共施設に設置の「市民の声」投書箱へ備え付けの専用用紙で投かんするか、市ホームページ内の「市民の声」入力フォームから送信してください。また、郵送(〒445-8501住所不要)やファクス(FAX57・1313)でも受け付けます。郵送などの場合は、文書に「市民の声」と明記してください。受け付けからおおむね2週間以内に回答しますが、検討に時間を要する場合がありますのでご了承ください。

投書箱設置場所 市役所行政情報コーナー(西玄関)

隣)、各支所、総合福祉センター、西尾市保健センター、西尾勤労会館、佐久島東渡船場、文化会館、西尾市立図書館、中央・寺津・米津・福地・西野町・ハツ面・鶴城・室場・三和・矢田の各ふれあいセンター、一色町・吉良町・幡豆の各公民館

■「市民の声」を市ホームページなどで公開

「市民の声」に多く寄せられる意見の中で、代表的なものや市政運営の参考となる意見の要旨と回答を公開しています。市ホームページや市役所行政情報コーナーと各支所で閲覧できます。

▼「市民の声」27年4月～9月の受付件数とその分野

分 野	件 数
産業振興(観光、地域ブランド、商業、農・水産業、工業・新産業・雇用)	10
社会基盤(道路、災害対策、公共交通、市街地、上・下水道)	21
子育て・教育・文化・スポーツ(子育て、学校教育、生涯学習、歴史文化、スポーツ、青少年健全育成)	38
健康・福祉(地域医療、健康づくり、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障、消費者保護)	4
自然環境・生活(公園・緑地、自然環境、河川・海岸、地球環境、環境衛生、防災、防犯・交通安全、消防)	44
市民・行政(市民協働、情報共有、コミュニティ、行財政運営)	45
その他	11
合計(延べ件数。意見などの内容が複数課に関係するものは、細分化しています)	173